

令和 1 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	生涯学習推進事業	会計名称	一般会計		担当課	社会教育課	
		予算科目	10 款 5 項 1 目	事業番号	4650	所属長名	山岡慎司
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	石崎恵美	
法令根拠等	教育基本法、社会教育法、社会教育基本方針				実施期間	【開始】	令和/平成 18 年度
総合計画での位置付け	生涯教育都市の創造 生涯にわたり学習できる環境づくり					【終了】	令和 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	生涯にわたり学習できる環境づくり						
事業の対象	一般市民			事業の目的	市民一人ひとりの自由な個人の学習が発展することにより、地域社会に主体的に参加し、様々な地域課題に取り組むことができるよう支援する。		
事業の内容 (整備内容)	地域の福祉や環境、子育てなど実際の生活に密着した学習テーマの設定や地域の関係機関・団体と連携した参加型のプログラムづくりを行い、学習の機会の拡充を行う。			昨年度の課題に対する具体的な改善策			

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	1年度予定	9月末の実績	1年度実績
直接事業費	3,093	3,766	0	0	0	3,245	生涯学習推進大会	人	317	300	0	284
財源内訳						0						
国庫支出金		0	0	0	0	0						
県支出金	0	0	0	0	0	0						
地方債	0	0	0	0	0	0						
その他	0	230	0	0	0	233	成人式	人	326	300	0	302
一般財源	3,093	3,536	0	0	0	3,012						
職員の人工(にんく)数	0.50	0.89				0.89	その他活動事業数	事業	4	2	0	2
1人工当たりの人件費単価	7,982	7,992				7,992						
※ 直接事業費+人件費	7,084	10,879				10,358						
主な実施主体	直営及び委託		実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)	生涯学習推進事業については、伊予市生涯学習推進委員会へ委託			その他活動事業参加延人数	人	1153	700	0	665
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	5年間の合計		
					4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	20,000		
成果指標	指標	主な活動指標事業(生涯学習推進大会及び成人式)と他活動事業との総事業数及び参加延人数			単位	区分年度	前年度	1 年度	2 年度	目標 毎年度		
	指標設定の考え方	①主な事業、②その他活動事業との総事業数及び参加延人数とし、多様な学習機会の創設と選択的学習の推進への指標とする			⇒	目標	6事業1700人	6事業1700人	6事業1700人	6事業1700人		
	指標で表せない効果					実績	4事業1796人	2事業1251人				

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		役員会において今年度取組計画について、各意見をとりまとめが出来、円滑に事業を推進できている。							
事務事業の評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4	合計点が	A	事業成果・工夫した点 事業の苦勞した点・課題	生涯学習推進大会の実施について、役員会の意見を反映させ、記念講演を先行させた。シンポジウムは、コメンテーターを記念講演の講師に依頼、コーディネーターは職員 (地区公民館主事) が務めた。
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	3				
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市が積極的に関与・実施すべき事業である。	3				
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	3	合計点が	B		
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	3				
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進への貢献は多々である。	3				
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	4	合計点が	A			
		コスト効率	5 4 3 2 1 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。	3					
		市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認められる。	3					
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4	合計点が	A	事業の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 生涯学習の理念 (教育基本法) に沿った事業推進は、今後も継続して必要である。
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	3				
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市が積極的に関与・実施すべき事業である。	3				
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	4	合計点が	A			
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	3					
		施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進への貢献は多々である。	3					
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	3	合計点が	B				
	コスト効率	5 4 3 2 1 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。	3						
	市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認められる。	3						
所属長の課題認識								市民一人一人が自己の人格を磨き、豊かな人生を送られるよう生涯にわたりあらゆる機会・あらゆる場所において学習すべく事業を推進し、豊かな地域づくりに努める。	

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容
<div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>		

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断会議	事業の方向性		コメント欄
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	